

令和2年6月22日（月）

子どもの作文

校長 橋本

6年生が素晴らしい作文を書きましたので紹介します。これは、6月22日（月）の全校放送朝会で校長が話をした内容について書いた作文です。

校長の話は次のような内容でした。

おはようございます。

6月1日から始まった学校の授業が3週間たちました。今日からいよいよ時間割通りの生活が始まります。

しかし、これまでと全く同じ生活ができるわけではありません。

新型コロナウイルス感染予防から、休み時間の過ごし方や給食の仕方も変わりました。手洗い、マスク、2mを守る生活も新しくなりました。検温や換気、熱中症対策にも取り組んでいます。この全校朝会も新型コロナウイルス感染予防から全員が集まらずに放送でしています。これから始まる委員会やクラブ活動も今まで通りにできないことがあります。

そこで、先生からお願いがあります。いろいろなことができなくなったと考えるのではなく、3密を避けながらどんな新しいことができるか、みんなでアイデアを出し合い、工夫して、新しい学校生活を作ってほしいということです。

この三週間で身に着けた新しい一小での学校生活のルールをしっかり守り、さらに工夫をしながら安全に生活していきましょう。

<六年生の作文①>

なぜ校長先生は、今日の全校朝会で新しい学校生活について話されたのだろうか。

今日の全校朝会で校長先生は次のような話をされました。

校長先生は新しい学校生活のことを話されました。校長先生は現在の学校生活と前の学校生活を比べてみると、できないことが多いけれども、できないじゃなくて、工夫して何かをすることが大切だとおっしゃっていました。

このことについて、僕は、校長先生の意見に同感しました。僕は、できないことをいつもできないからやらないとあきらめてしまいましたが、できないじゃなくやらなければ何も始まらないと思いました。

校長先生はつまりできないで終わらせるのではなく、そのできないことかわりに他の何かを工夫して考えてとっているのではないかと思いました。

校長先生の話聞いてこれからはできないで終わらせるのではなく、そのかわりに工夫してできることを探していきたいと思いました。

<六年生の作文②>

なぜ校長先生は、今の生活の中で「何ができるのか」考えてほしいと聞いたのか。

今日の全校朝会で校長先生は、次のような話をされました。

今、新型コロナ対策で、今ままできていた当たり前のことができなくなっています。が、「何もできない。」と考えるのではなく、この新しくなった生活で「何ができる」かを考えてみてください。と話しました。

このことについて私は、とても共感しました。新型コロナで忙しくて、今までできなかったこと、例えば遠いところに住む人に手紙を送ったりなど、できていなかったことをしていこうと思いました。

つまり、校長先生は、今までできなかったこと、やり残してしまったことなど、やった方がいいと伝えたかったんだと思います。

これから私は、今までできなかったことや、「新しくできること」をさがして、やっていきたいなと思いました。